

(トップページ：<http://members3.icom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(写真は語るシリーズ：<http://members3.icom.home.ne.jp/3632asdm/PhotoEssay.html>)

(MENA・イスラム圏：<http://members3.icom.home.ne.jp/3632asdm/MenaOicCountries.html>)

マイライブラリー：0285

(注)本稿は2013年11月6日、7日の2回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2013.11.7

前田 高行

### 写真は語るシリーズ：天国と地獄のシーソーゲーム

#### 悪役と正義の味方が入れ替わった！



左の二人の写真を見比べていただきたい。上はムバラク前々大統領、下はムルシ前大統領(但しムルシ本人は自分が現在も正統な大統領であると主張している)。二人がいるところは金網張りの法廷の被告人席である。略式軍服姿のムバラクはベッドに横たわり口を真一文字に閉じたまま、一方ムルシは背広の平服を着用、裁判の無効を大声で主張している。



被告は通常白衣の囚人服を着なければならないが(ムルシ後方のムスリム同胞団幹部の被告たち)、軍出身のムバラクと民間人のムルシは互いに自らの出自を明らかにすることにこだわっている。写真が撮影されたのは前者が昨年6月<sup>1</sup>、後者が今年(2013年11月)<sup>2</sup>であり、その間わずか1年数ヶ月しか経っていない。

罪状はいずれも自らの大統領時代に反政府デモを武力で鎮圧、多数の死者を出したこととされている。ムバラクは終身刑を言い渡され、ムルシの裁判はこれからである。但しムバラクは判決の後にも刑務所に収監されることなく病院に隔離されていたが、ムルシ政権がクーデタで倒された今年8月に法廷から釈放を言い渡されている<sup>3</sup>。同じ大統領職にあった二人であるが、ムバラクは終身判決を免れて釈放され、かたやムルシは判決を待つ身である。一国の大統領がわずか1年で立場を180度逆転するとは全く信じられない光景である。二人は天国と地獄のシーソーゲームを演じる役者である。この逆転劇の二人の主役は一方が悪人で一方が正義の味方と言う訳ではない。舞台の途中で役が入れ替わっている。エジプトは一体どうなっているのだろうか。二人の身に起

こった変化をたどると凡そ以下のとおりである。

### ムバラク元大統領の場合

ムバラクは 1981 年、暗殺されたサダト大統領にかわり大統領に就任した。その後、憲法を改正して多選を重ね 2005 年には 5 選を果たし栄華を極めた。高齢のため一時は次男のガマルへの世襲を企てたが、世論の支持が少ないと見るや 2010 年暮れには続投を表明している。

しかしちょうどその頃チュニジアで「アラブの春」の民主化運動が発生、エジプトでも 30 年以上にわたるムバラク超長期政権に対して国民の不満が爆発、2011 年 1 月にはカイロのタハリール広場で大規模なデモが発生した。これに対してムバラクが国軍を展開し武力で鎮圧したため多数の死者が出た。この結果、反政府運動は全国規模に拡大し、2 月にはついにムバラクは大統領は辞任、一族の資産も凍結された。

ムバラク断罪を求める民衆の声に呼応して同年 8 月に裁判が始まり、2012 年 6 月に終身刑が言い渡されたのである。しかしその後ムルシ政権が失政により民衆の支持を失うと形勢が逆転、今年 7 月クーデタにより軍が主導権を回復するとやり直し裁判により無罪放免になった、と言う次第である。

### ムルシ(前)大統領の場合

ムルシはムスリム同胞団をバックに設立された自由公正党の初代党首となり、2012 年 6 月の選挙で大統領に選ばれた。大統領選挙はムルシの他、旧政権勢力をバックにしたシャフィーク元首相、リベラル派のムーサ元外相・アラブ連盟事務局長など 13 人で争われ、ムルシとシャフィークによる決選投票の結果、ムルシ大統領が誕生したのである。

ムスリム同胞団は 1960 年代に当時のナセル大統領の暗殺を企てたとして非合法化されて以来、政治的活動を控えもっぱら草の根の福祉慈善活動で都市の下層階級及び農村部に深く根を下ろし軍事政権にとって侮りがたい勢力に成長した。そこに発生したのが 2011 年の「アラブの春」民主化運動であり、エジプト全土でデモが展開されついにムバラク政権は退陣した。そして同国初の民主的な政党選挙でムスリム同胞団は自由公正党を結成して議会選挙で第一党の座を獲得し、続く大統領選挙でも同胞団出身のムルシが当選したのである。

ところがムルシ政権は旧政権のテクノクラートを一掃し、露骨なネポティズム(縁故主義)で行政の実務経験がほとんどないムスリム同胞団幹部を重要ポストにつけたため経済は破たん状態に陥り一挙に国民の支持を失った。本年 6 月下旬にはムルシ政権の退陣を求める大規模デモが発生、これに便乗した軍部のクーデタにより政権はわずか 1 年で崩壊した。そして今、彼はデモによる死亡事件に対して裁判にかけられた、と言う次第である。

### エジプトは今後どうなる？そしてリベラル勢力は機能しているのか？

ムルシの第一回公判は検察の起訴状朗読後、ムルシが裁判の正当性を主張し始めた途端裁判長が退席、裁判は来年 1 月 8 日に延期された。今後法廷外でムルシ支持派、即ちムスリム同胞団のデモ活動はますます激しくなり一部支持者の暴走に歯止めがかからなくなる恐れが強い。そうな

れば同胞団と軍部とが全面的に対決し流血の惨事は避けられず、エジプト情勢は一層混迷の度を深めるものと思われる。

見渡したところ軍部及びムスリム同胞団に対抗しうる第三勢力は見当たらない。かつて都市部の学生・インテリによるリベラル勢力が第三極として期待されたが、彼らは大統領選挙でムーサ元外相に一本化できず決選投票に駒を進められなかった。今回の反政権派大規模デモで彼らは勢力の巻き返しを図ったが、政権を倒すだけの力はなく、結局軍のクーデタを歓迎するという自家撞着に陥ったのである。軍部主導の暫定政府ではリベラル派N F Lを率いたエルバラダイ(元国際原子力機関 I A E A 事務局長)が副大統領に起用された。しかし彼は就任直後、治安当局によるデモ鎮圧で多数の死傷者が出ると副大統領を辞任し海外に逃避する有様である。リベラル改革派は今年の議会及び大統領選挙でムスリム同胞団が勝利をおさめた時、「彼らに革命を乗っ取られた」と嘆いたが、今回は軍部に手玉に取られた訳である。彼らは結局口先だけの集団でしかないことが証明されたと言えよう。と言うよりも彼らはムーサやエルバラダイのような外国に受けの良い外交官しか担ぎ出せなかったのである。外交官は神輿に乗るのは上手だが、決して有能な政治家になれないことは万国共通である。

GCC 初め欧米各国は軍部を支持しムスリム同胞団を警戒している。米国は民主的な選挙で選ばれた同胞団を否定することはできず、今回のクーデタを容認しているわけではない。しかし内心ではイスラエルとの相性が良い軍部主導の政権を望んでいる。そのためにムルシの復帰ではなく大統領再選挙を推している。米国は民主主義とイスラエル安全保障の狭間でダブルスタンダードに陥り、一方極度のイスラム嫌悪症のヨーロッパ諸国はムスリム政権に反対である。つまり外国はほぼ一様にムスリム同胞団が政権を握ることに反対なのである。

ところがエジプト国内、特に農村部や都市の下層階級ではムスリム同胞団が圧倒的に強い。彼らは長年にわたる草の根運動で地道に汗を流す同胞団の活動を支持している。ツイッターやフェイスブックでデモを呼びかけるだけの都市のインテリや学生層とは腰の据え方が違うのである。余談ではあるが学生運動が盛んだった筆者の大学時代、左翼かぶれのクラスメートが盛んに「社会の下部構造が上部構造を決定する」などと言うのを上の空で聞いていたが、それは一面の真理を突いたものだと思う。ともかくインテリや学生はいつの時代も上滑りの観念論を振り回すが、一般大衆はそれを冷めた目で見ているのである。

悲観的な見方になるが、エジプトは再び軍部独裁政権に戻る可能性が高い。さもなくば大衆に支持されたムスリム同胞団が軍部に最終決戦を挑むことになろう。それは今まで以上の流血の惨事を招き、エジプトは破綻国家になりかねない危険性をはらんでいると言えよう。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601  
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642  
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601  
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642  
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

- 
- <sup>1</sup> Khaleej Times on 2012/6/3, 'Hosni Mubarak gets life term'  
[http://www.khaleejtimes.com/kt-article-display-1.asp?xfile=data/middleeast/2012/June/middleeast\\_June22.xml&section=middleeast](http://www.khaleejtimes.com/kt-article-display-1.asp?xfile=data/middleeast/2012/June/middleeast_June22.xml&section=middleeast)
- <sup>2</sup> Khaleej Times on 2013/11/4, 'Mursi claims he is still president'  
[http://www.khaleejtimes.com/kt-article-display-1.asp?xfile=data/middleeast/2013/November/middleeast\\_November41.xml&section=middleeast](http://www.khaleejtimes.com/kt-article-display-1.asp?xfile=data/middleeast/2013/November/middleeast_November41.xml&section=middleeast)
- <sup>3</sup> Khaleej Times on 2013/8/22, 'Egypt court orders release of Mubarak'  
[http://www.khaleejtimes.com/kt-article-display-1.asp?xfile=data/middleeast/2013/August/middleeast\\_August240.xml&section=middleeast](http://www.khaleejtimes.com/kt-article-display-1.asp?xfile=data/middleeast/2013/August/middleeast_August240.xml&section=middleeast)